

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟
2019年度 定期総会

議 事 録

日 時：2019年10月27日（日）13：00～16：00

場 所：日本財団ビル2階 会議室

出席者：椎名茂、古市隆一、隅野礼雄、大日方邦子、渡辺孝次、安藤佳代子、
東海林史朗、二星謙一、山口聖子、新田佳浩、夏目堅司、小林清美、井上真司、
桜本利幸、内海けい、鈴木久三郎、保科実、藤本泰輔、井上義人、菅嶋康浩、
鈴川知子、木附好、津田あさひ、平野敦司、河井修、篠原みづき、小野昌子、
石丸羊一（28名）
理事徳田康、監事大内智（非会員2名）

委任者：岩間秀子、荒井秀樹、宮田隆司、齋藤俊蔵、金谷浩克、木附博志、鈴木猛史、
小館操、長谷川優一、平野井重信、森井大輝、三澤拓、石井沙織、三好雅樹、
加藤弘、泉谷昌洋、大塚ゆかり、竹腰誠、原俊雄、黒澤英章、藤田佑平、
富士原裕三、狩野亮、綿谷直樹、堀切功、五味宣子（26名）

委任無し：大西輝雄、金澤千尋、弓削勝吉、弓削縫子（4名）

欠席者：佐藤朋美、石田千里、太田澄人、森永美波（4名）

役員候補欠席者：中村実彦（1名）

1. 開会通告

椎名会長よりこれから2019年度の定期総会を開催する旨の通告がありました。

2. 椎名会長より挨拶

先週、札幌市・札幌スキー連盟を訪問したこと20—21シーズンにアルペンとノルディックのワールドカップ開催の予定があることの報告があった。皆さんの協力を得て実現に向けてゆきたい。

3. 総会議長選出

出席した正会員の中から鈴川知子氏が議長に指名され了承された。
また議長より挨拶があり、次第の確認がなされ、会議が開始された。

4. 定足数確認

議長より定足数の確認がなされました。2019年10月27日現在の正会員は62名、出席名（出席28名、委任状26名）であり、有効出席者数が定足数を満たし本会は成立するとの報告があった。

5. 議事録署名人の選出と書記の指名

議事録署名人は、議長の他に河井修氏、井上義人氏、書記は石丸羊一（事務局）が指名され了承された。

6. 審議事項

1) 第1号議案 平成30年度事業報告について

議長より事業報告については、各事業担当役員から詳細を報告するように指示があり、それぞれ下記の担当者より配布資料に基づき報告があった。

- ①アルペン・身体チーム：大日方邦子氏
- ②アルペン・知的チーム：大日方邦子氏
- ③クロカン・身体チーム：渡辺孝次氏
- ④クロカン・知的チーム：渡辺孝次氏
- ⑤スノーボード・身体チーム：二星謙一氏
- ⑥普及委員会：安藤佳代子氏
- ⑦広報委員会：隅野礼雄氏
- ⑧マーケティング委員会：隅野礼雄氏
- ⑨総務委員会：古市専務理事
- ⑩アンチ・ドーピング委員会：大日方邦子氏（岩間秀子氏の代理）
- ⑪国際委員会：大日方邦子氏
- ⑫クラシフィケーション委員会：山口聖子氏
- ⑬用具技術開発委員会：椎名会長

古市専務理事より法務倫理・選手委員会は特に報告事業がなかったことが報告された。

質疑応答

平野敦司氏：ID アルペン、スノーボードの選手が合宿等の事業に参加しづらい環境にあると報告があったがこれについて連盟として何か対応していますか。

東海林史朗氏・渡辺孝次氏：職場の理解を得られるように対応しています。職場を変えて練習環境を良くした選手もいます。

椎名会長：資金面では連盟からの資金援助や企業からのサポートを受けること

を出来るように対応しています。

二星謙一氏：障がい者雇用の実現や東京都からの助成、職場への時短要請等によって改善されている。

平野敦司氏：会員に対して登録しても連絡がない、競技者登録しているかどうかのデータが出てこないのが大会運営等現場で困ることがあります。

古市専務理事：会員へのサービス充実については検討中です。競技者登録のデータについての提供についても検討しています。会員カードの発行についても検討中です。

事業報告について審議の結果、議長より意見を問い、賛成 54 名、反対 0 名、棄権 0 名で承認された。

2) 第 2 号議案 平成 30 年度会計報告について

古市専務理事より会計資料についての報告があった。

配布資料の決算対比表に基づき、連盟全体の収支について説明が行われた。

質疑応答

井上義人氏：人件費の削減額について確認したい。

石丸羊一：連盟運営費の中の人件費については、人が辞めたり育児休暇に入ったので減りました。

夏目堅司氏：スポーツ用具費について

古市専務理事：役員用のユニフォーム費用を計上しています。

平野敦司氏：ノルディックのワールドカップの費用が全部普及委員会に計上されているが分けるべきではないか。

古市専務理事：分類上、他に計上する委員会がないので普及委員会に計上しているが、個別にデータを取り出せるように経理処理を行っています。

大内智監事より、9/28 に監事による監査を行い業務処理・会計処理が正しく行われていることを確認した旨の報告がありました。

会計報告について審議の結果、議長より意見を問い、賛成 54 名、反対 0 名、棄権 0 名で承認された。

3) 第3号議案 役員の選任について

古市専務理事より役員選任の経緯と4名の候補者についての説明があった。連盟の体制強化のために承認をお願いしたい。

理事候補者

1. 保科 実氏
2. 中村 実彦氏
3. 藤本 泰輔氏
4. 鈴木 久三郎氏

質疑応答

平野敦司氏：それぞれの方の年齢を教えてください。

椎名会長：具体的な年齢はお知らせできないが次の審議事項になっている定款変更後の就任時の年齢制限には該当しません。

平野敦司氏：中村実彦氏は過去に役員であったが、過去の就任年数は含まれるのか。

古市専務理事：現定款上通算と規定しているので、過去の任期は含まれます。

役員の選任について審議の結果、議長より意見を問い、賛成54名、反対0名、棄権0名で承認された。

4) 第4号議案 定款の変更について

古市専務理事：定款変更の背景について説明があった。

質疑応答

小林清美氏：連続5期10年とすると一旦役員から外れた方が就任出来ることとなりますが。

椎名会長：変更案の条文の通りです。

定款の変更について審議の結果、議長より意見を問い、賛成54名、反対0名、棄権0名で承認された。

5) 新理事の自己紹介

保科実さん・鈴木久三郎さん・藤本泰輔さんからそれぞれ自己紹介がありました。

7. 報告事項

1) 2019 年度事業計画について

各事業計画については、資料配布に沿って下記の担当者より報告があった。

- ① アルペン・身体チーム：大日方邦子氏、今シーズンから次世代育成選手を募集して7名を育成選手として認定した。
- ② アルペン・知的チーム：大日方邦子氏
- ③ クロカン・身体チーム：渡辺孝次氏、今シーズンからクロカンとバイアの2チーム体制にした。
- ④ クロカン・知的チーム：渡辺孝次氏
- ⑤ スノーボード・身体チーム：二星謙一氏
- ⑥ 普及委員会事業：安藤佳代子氏
- ⑦ 広報委員会：隅野礼雄氏
- ⑧ マーケティング委員会：隅野礼雄氏、今年からゴールドスポンサーとして3社が決定したことの報告があった。
- ⑨ 総務委員会：古市専務理事
- ⑩ アンチドーピング委員会：大日方邦子氏（岩間秀子理事の代理）
- ⑪ 国際委員会：大日方邦子氏
- ⑫ クラシフィケーション委員会：山口聖子氏
- ⑬ 選手委員会：新田佳浩氏
- ⑭ 用具技術開発委員会：椎名会長

古市専務理事：法務倫理委員会の事業計画はありません。

質疑応答

平野敦司氏：パラアルペンの次世代の7名の詳細（クラスとか）について教えてください。

大日方邦子氏：ホームページに載せています。7名の氏名等を報告した。

平野敦司氏：クラシフィケーション講習会に参加出来る人の範囲を教えてください。

山口聖子氏：今年度はクロカン大会に合わせて選手向けに考えている。今後はもっと広く参加者を募るようにしたい。

大日方邦子氏：クラス分けの現状とチームドクター体制について報告があった。

2) 2019 年度事業予算について

古市専務理事より予算について 2019 年度収支予算書に基づき収入・支出の項目毎の報告があった。

質疑応答

平野敦司氏：日本財団にはいつまで居ることが出来るのか。

古市専務理事：まだいつまでかは確定していないが、事務局の規模縮小を検討しなければならない。

井上義人氏：参加費の内訳について教えてください。

石丸羊一：各チームの事業計画を実施する際の支出の内、助成金と連盟負担分で賄えない分が参加費となっています。

大日方邦子氏：各チームの選手参加費決定プロセスについて説明があった。

平野敦司氏：選手のランク別に負担金を変えていますか。

大日方邦子氏：各チーム毎に負担方法を変えています。

平野敦司氏：選手委員会としてはどう考えてるのか。

新田佳浩氏：選手としてはランク毎に負担割合が違うことは納得して成績向上を目指しています。

3) その他

特になし。

議長より閉会通告があり、定期総会を終了した。

2019年10月27日

議事録署名人

議長

鈴川知子

議事録署名人

河井修

議事録署名人

井上義人